

催しと施設のお知らせ

播磨町のいいとこ写真展

皆さまからご応募いただきました「いいとこ写真」の写真を紹介します。

これを機に、知らなかった場所、知っていても気づかなかった播磨町のいいところを再発見してみませんか。

ぜひ皆さんお誘いあわせのうえお越しください。

- ▼場所・展示 地域連携交流施設・11月25日(木)～12月9日(木) 西部コミセン・12月10日(金)～16日(木) 東部コミセン・12月17日(金)～23日(木) 役場ロビー・12月24日(金)～1月17日(月)
- ▼問合せ 都市計画グループ ☎079(435)2366

郷土資料館

☎079(435)5000
12月の休館日 6日、13日、20日、27日、29日、31日

ビー玉木琴をつくらう

八角形の立体的な木琴がやさしい音色を奏でます。

▼日時 12月5日(日) 午前10時～11時30分

▼場所 学習室

▼対象 小学生

▼定員 先着8人

▼費用 300円

※事前申し込みが必要です。

動くおもちゃをつくらう

今回の動くおもちゃは、牛乳パックでいろいろな音を出して、楽しく演奏します。指導は、ひよっこあそびの伝承師の皆さんです。

▼日時 12月12日(日) 午後1時30分～3時

▼場所 学習室

▼対象 小学生以上

▼定員 先着8人

※事前申し込みが必要です。

ひもでつくらう

キラキラペンダント
漁師さんが使う網針でワリスカスカラーのアクセサリを作ります。

▼日時 12月18日(土) 午後1時～3時30分

▼場所 学習室

▼対象 小学3年生以上

▼定員 先着8人

▼費用 500円

※事前申し込みが必要です。

図書館

☎079(437)4500
12月の休館日 8日、22日、29日～1月3日

特別貸出のお知らせ

12月29日(木)～1月3日(月)の年末年始の休館に伴い、12月15日(水)～28日(火)の期間に限り、貸出期間を3週間に、また図書の貸出冊数を10冊に変更します。

※視聴覚資料の貸出点数は、通常どおり3点です。

定例の催し

- ひよこのおはなし会
▼日時 12月7日(火) 午前11時～11時30分
- ▼場所 児童書コーナー
- 絵本をたのしむ会
▼日時 12月14日(火)、21日(火)、28日(火) 午前11時～11時30分
- ▼場所 児童書コーナー
- おはなし会
▼日時 12月4日(出)、11日(出)、18日(出)、25日(出) 午後3時～3時30分
- ▼場所 2階視聴覚室
- はりま読書の会
▼日時 12月19日(日) 午前11時～正午
- ▼場所 2階視聴覚室
- ▼対象 中高生～一般
- ▼定員 8人(参加人数が多数の場合は抽選)
- ▼持ち物 おすすめ本1冊

播磨町ふるさと歴史カルタを貸し出します



播磨町の歴史・文化を、カルタを通じて学んでみませんか。お正月に家族みんなで、カルタで盛り上がりましょう。

▼貸出期間 12月1日(火)～令和4年1月31日(月)のうち2週間

▼問合せ 中央公民館 ☎079(437)6980

中央公民館

☎079(437)6980
12月の休館日 19日、29日～1月3日

書初め展示作品募集!

お正月に書初めをしませんか?課題文字はありません。初めての人も大歓迎です。ぜひチャレンジしてください。

▼展示期間 令和4年1月11日(火)～18日(火)

▼場所 中央公民館ロビー

▼対象 高校生まで

▼受付期間 令和4年1月4日(火)～8日(土)

2冊程度

英語DEえほん

▼日時 12月26日(日) 午後3時～3時30分

▼場所 児童書コーナー

スポーツクラブ21はりま

☎079(437)2201
12月の休館日 26日、29日～1月3日

冬休み子どもフットサル

当日、集まった子どもたちをチーム分けし、ゲーム中心で開催する個人参加型の子どものフットサルです。技術面の指導は行いません。

▼日時 12月24日(金)、28日(火)、午前11時～正午

▼対象 小学4～6年生

▼定員 各回20人

▼費用 1人1回200円

トレーニング教室

受講した人には、終了証を発行します。修了後は、総合体育館トレーニング室を利用できます。

▼日時 1月8日(出)、17日(月) 午後7時30分～9時のいずれか1回

▼対象 16歳以上

▼費用 千円

▼申込み・問合せ 12月1日(火)から受付開始。費用を添えてお申し込みください(受付時間 午前9時～午後7時)

後7時

地域連携交流施設(はりまデザインラボ)

☎079(437)0141
休館日 毎週日曜日、29日～1月3日

子ども和紙おりぞめ体験

▼日時 令和4年1月15日(出) 午前10時～正午

▼対象 小学1～6年生

▼定員 先着10人

▼持ち物 スティックのり、ハサミ

▼費用 500円

▼申込み 電話または窓口でお申し込みください

定例の催し

●ダンスちやれんじ
障害のある子どもの体力作りをやっています。

▼日時 12月2日(木)、16日(木) 午後4時30分～5時30分

▼費用 1千500円(月会費)

大人のぬりえ

▼日時 12月6日(月) 午前10時～正午

▼持ち物 色鉛筆、お茶

▼費用 200円

第57回播磨町菊花展入賞者

10月24日～11月9日に開催された菊花展の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

播磨町長賞	春名 寿美代
播磨町議会議長賞	浅原 良平
播磨町教育長賞	平部 誠司
兵庫県菊花連合会長賞	永井 誠
	松岡 香
神戸新聞社賞	土井 勝代子
播磨町菊花会長賞	西口 龍彌
兵庫南農業協同組合長賞	土井 勝代子
播磨町商工会長賞	平部 誠司
(公財)兵庫県園芸・公園協会理事長賞	宇都宮 久登司
	永井 誠
兵庫県立フラワーセンター園長賞	香西 美知子
奨励賞	土井 勝代子
	春名 寿美代
	春名 政吉
大きく咲いたで賞	ことぶき大学園芸部
特別出品	加藤 吉和

図書館の今月の本だ

おとなの本

- 世界のきらめくイルミネーション
グラフィック社編集部/編
- 美味しい!可愛い!大人の台湾めぐり
竹永 絵里/文・絵
- 考えごとしたい旅フィンランドシナモンロール
益田 ミリ/著
- 全国“オンリーワン”路線バスの旅
宮武 和多哉/著
- 京都雪景色
水野 克比古/著

一般展示「本で旅しよう」
旅行に行けない、行きにくい昨今、せめて「行った気分だけでも味わいたい」と思いませんか。今月は世界各地の絶景が楽しめる写真集や旅行記などを紹介します。ページをめくって、ひと時旅気分をお楽しみください。

こどもの本

- まいごのてがみ
石井 睦美/作
- サンタにてがみがとどいたよ
まつのりこ/さく
- いろいろおてがみ
えがしら みちこ/作
- ゆうびんやさんのココリさん
中川 ひろたか/作
- かならずお返事書くからね
ケイトリン・アリフィレンカ/著

児童展示「おてがみ、どうぞ」
もうすぐクリスマス、そしてお正月がやってきます。サンタさんへのお手紙やお友達への年賀状など、書くのも受け取るのもうれしい、お手紙が出てくる本を集めました。

グリーンボランティア募集

▼日時 12月9日(木) 午前10時～11時30分

●おりぞめくらぶ
▼日時 12月1日(火)、15日(水) 午前10時～正午

▼持ち物 汚れてもいい服

▼費用 600円

●折り紙教室
お正月飾りを作ります。

▼日時 12月21日(火) 午前10時～正午

▼費用 600円

加古郡
リサイクルプラザ
☎079(437)7671
毎週月・火曜日休館
29日～1月3日

加古ちゃんの有機肥料を半額で販売します

日頃のご愛顧に感謝して、加古ちゃんの有機肥料(10kg袋入)の半額販売を行います。通常、1袋200円のところを100円で販売します。

▼販売数 1世帯に10袋まで(合計500袋)

▼引渡期間 抽選結果の発表時にお知らせします(1

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、施設をご利用の際はマスクの着用、手指消毒などのご協力をお願いします。

また、状況によって、広報はりに掲載している情報は、変更や延期、中止をする場合があります。ご了承願います。

「第7回加古ちゃんの3Rフェスタ」は中止します

▶問合せ リサイクルプラザ ☎079(437)7671

月中旬を予定)

▼申込方法 往復はがきまたはメールに、住所、氏名、電話番号、希望数を「明記のうえ、お送りください」〒675-0155 播磨町新島60 加古郡リサイクルプラザEメール plaza@kakoisei.or.jp

▼締切日 12月14日(火)必着 ※応募者多数の場合は、抽選を行います。抽選結果メールを受信できるよう、受信設定をご確認ください。 ※申し込み内容に不備がある場合は、無効となります。

体験教室

▼対象 小学生以上の(低学年は体験者1人につき大人1人のみの保護者同伴) ②は小学4年生以上 ①ガラスの判子作り(サンドブラスト) ガラス製の判子に砂を吹き付けて、好きなデザインを加工します。

▼日時 12月18日(出)、19日(日) 午前9時30分～正午、午後1時30分～4時 ▼費用 300円 ▼定員 各回1グループ4

人まで

※カッターナイフを使って、ガラスに加工します。

②ステンドグラスのオーナメント作り ステンドグラスのオーナメントをつくりま。

▼日時 12月9日(木)、10日(金)、11日(土)、12日(日) 午前9時30分～正午、午後1時30分～4時 ▼費用 千円 ▼定員 各回1グループ2人まで

※半田コテを使った体験ですので、大人同伴で参加してください。 ※作品は後日引き渡しになります。

県立考古博物館

079(437)5589 12月の休館日 5日、6日、13日、20日、24日、31日

講演会 「竪穴住居跡が語るひょうごの歴史」

▼日時 1月22日(土) 午後1時30分～3時 ▼場所 講堂 ▼講師 山下史朗(兵庫県企画県民部) ▼定員 72人(予約が必要)

▼締切日 1月4日(火)

講演会 「本をつくる仕事、こぼれ話」

▼日時 2月5日(土) 午後1時30分～3時 ▼場所 講堂 ▼講師 菱田淳子(当館学芸員)

▼定員 72人(予約が必要) 1月18日(火) ※考古博物館の申込方法 講演会の申し込みについては、オンラインか往復はがきでの事前予約が必要です。 定員を超える場合は、抽選となります。

詳細については、考古博物館ホームページをご覧ください。

施設・登録団体、各種団体からのお知らせ

播磨町国際交流協会 クリスマス会

子どもクリスマス会。 外国人の先生たちと簡単な英語にふれながらクリスマスのゲームで遊びましょう。

▼日時 12月5日(日) 午前10時～11時30分

▼場所 南部コミセンホール ▼費用 会員の子ども無料、非会員300円 ▼対象 4歳～小学生

▼持ち物 ハサミ、ノリ、色マジック、新聞紙 ▼締切日 12月1日(水) ▼定員 先着20人 ▼申込み・問合せ 播磨町国際交流協会 079(435)0356

Eメール harimachou-ira@bb.banban.jp 令和3年度播磨ゆめづくり塾 播磨町の森のようちえん「そとっこ塾」

「播磨町の公園で遊ぼう!」たくさん動いて遊んで。冬の寒さを親子で楽しみませんか。読み聞かせやわらべうたもいっしょに♪

▼日時 12月12日(日) 午前10時～午後1時 ▼場所 望海公園 ▼費用 1家族 500円 ▼持ち物 温かい飲み物、温かい服装、おにぎり、レジャーシート ▼申込み・問合せ 事前に

申し込みが必要です

塾長 前田由香

Eメール sotoko-1@yahoo.co.jp そとっこブログ https://sotoko.localinfo.jp

家庭教育コラム

子育てのための かがやく未来のために

家庭ごきぎょう 播磨町家庭教育推進委員会

スマホ使用の時間管理を

コロナ禍が長引き、それに伴ってテレワークやリモート授業などが一般的になってきました。インターネットやIoTの必要性がさらに高まると共に、それらを利用する時間も日々増えています。

現在、私達の一番身近なIT機器と言えばスマートフォン(スマホ)だと思います。特に子どもたちのスマホを持ち始める年齢が年々下がってきている中で、「使用時間の管理」はとても重要になってきます。1日24時間という限られた時間の中で、睡眠、食事、通学、勉強などのやるべきことをこなしていかなければなりません。それ以外にも友達との語らいや読書、遊びなど、学生の時にしかできない時間の使い方はいくらでもあります。後で後悔しないためにも、1日のスマホの使用時間をきちんと管理して、二度と戻らない貴重な学生時代の時間を、長時間のネットの動画視聴などで無駄に浪費しないようにしてほしいと思います。

郷土に尽くした苦勞人庄屋

うめたに しちえもん きよまさ 梅谷七右衛門清政 4

清政は魚問屋を開業するなど、家業にも熱心に取り組みましたが、決して庄屋としての村の経営をおろそかにしたわけではありませんでした。



▲金泉寺

水害跡の修復と屋敷の創設

宝永7年(1710)、村の中では屋敷が不足し、屋敷を持たない百姓も多いなか、大水が出て喜瀬川が氾濫し堤や水門が流出しました。清政は藩の命によりその復旧に当たりましたが、この時、5年の歳月と延べ3万人の人手を投入し、河川敷をかさ上げして敷地を拓ける工事を行いました。

こうして新しく生まれた土地は土地境界を明確にした上で、村内の屋敷を持たない百姓38軒を選んで与え、自立させました。またこれを機会に、村の中にあつた三昧(埋め墓)を川の東に移し、その跡地には新しくお堂(金泉寺)を建て、堂守を置いて朝夕読経をさせたいえ、毎年7月7日には施餓鬼を行って、この地に葬られた人々のための供養を怠りませんでした。

氏宮の復興と菩提寺の再建

清政は氏宮(阿閉神社)の復興にも力を尽くしました。享保15年(1730)、阿閉神社の社殿を修復することについて近隣に住む氏子の人々と相談し、費用を分担し工事を行いました。また境内の枯れ木や落葉などを入札にして銀に替え、松の苗木を植えさせて松林を保護しようです。そして清政は、当時100余年にわたって途絶えてきた神事「秋祭り」を復活させました。文書には太鼓や御輿を新調したとの記録も残っています。この神事は現在も受け継がれ、播磨町では一番のにぎわいをみせています。

また同じころ、蓮花寺がかなり荒廃しており、檀家の人々に呼びかけ再建を志しましたがあまり協力が得られず、ほとんど独力にて当時妻鹿村にあつた廃寺を買取り、移築のうえ蓮花寺として再建しています。その時、梵鐘が破損していたので鋳直したと『愚胸記』に書かれています。

▼問合せ 播磨町郷土資料館 079(435)5000 館長 井上珠彦



▲阿閉神社秋祭り (本荘秋祭り屋台保存会 提供)